

第四十五回帝國議會
衆議院

刑事訴訟法案委員會中特別調查委員會會議錄(速記)第五回

會議

大正十一年二月二十七日午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 鵜澤 總明君

黒住 成章君 宮古啓三郎君

磯田泰三郎君 横山勝太郎君

上島益三郎君 鈴木富七彌君

出席政府委員左ノ如シ

司法省監獄局長 山岡萬之助君

司法事務官 宮城長五郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

原 夫次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

刑事訴訟法案

○鵜澤委員長 是ヨリ刑事訴訟法案ノ小委員會ヲ開キマス
第二編第一章第一、第二章、第二百四十六條「檢事犯罪アリ
ト思料スルトキハ犯人及證據ヲ搜查スヘシ」

○横山委員 第一ニ此表題カラ承テ置キマスガ「第二編第一
一審」トアル、此第一審ト云フノハ、地方裁判所ノ一審、區裁
判所ノ一審ニ通ジテ適用ノアルト云フ意味ニ解釋シテ宜シ
ウゴザイマスカ

○山岡政府委員 御尤、其通りデス

○横山(勝)委員 「第一章搜查」ト云フ見出デスガ、是ハ第十
一章ノ搜索ト云フ字ト少シ差違ガアルヤウデアリマスガ、
ソレハ矢張從來ノ用例通りニ考ヘテ宜シイデアリマセ
ウカ特ニ「索」ト「査」ノ間ニ區別ガアルノデアリマセウカ、
簡單ニ承テ置キマス

○山岡政府委員 此點ハ現行法ニ於キマシテモ矢張此搜索
ト云フ字ハ、證據ヲ調べマス方ノ規定ニアリマシテ、ソレカ
ラ殊ニ犯人ヲ搜索シテ——逃亡シタ犯人ヲ搜索スルト云フ
場合ニ、此字ガ用ヒラレテ居リマス、ソコデ此搜查ト云フ字
ガ働キノ上ニドウ違フカト云フト、働キノ上ニハソレ程違
フト思ヒマセス、搜索ニ致シマシテモ、矢張證據物ヲ探索ス
ルコトデアリマス、併シ此差違ヲ求メマスルト云フト、搜查
トナリマスルト云フト、是ハ此起訴前ニ於キマシテ、起訴ヲ
スルヤ否ヤニ關スル材料ヲ蒐メマスルコトデ、極ク廣ク使
ハレテ居リマス、即チ犯人及證據ヲ蒐メマスル——蒐集致
シマスル事ヲ搜查ト之ヲ稱シマシテ、搜索ト申シマスルト
云フト、此人ヲ調べルトカ、被告人ヲ調べルトカ、其他ノ證

人參考人等ヲ調べルトカ、合シデ居ラヌノデアリマス、搜
査ニナリマス、總テ人ノ證據デモ、物ノ證據デモ、何デモ
這入リマス、ソレダケノ違ヒデアリマス、即チ此案ニ於キマ
シテモ搜索ト申シマス、極ク狭イ意味ニナリマス、搜查ト
ナリマス、起訴前ノ材料ノ蒐集ヲ意味致シマス

○横山委員 二百四十六條「檢事犯罪アリト思料スルト
キハ犯人及證據ヲ搜查スヘシ」ト云フ此規定デアリマス、是
ハ從來モ斯ウ云フ例ニナッテ居リマスガ、此犯罪アリト思料
スル場合ハ、無論是デ了解出來マスガ、告訴告發、其他提供
セラレタル材料ニ依ッテ、犯罪ガ有ルカ無イカ分ラヌ場合ハ
ドウスルノデスカ

○山岡政府委員 ソレハ犯罪ガ有ルカ無イカ分ラナイト云
フトキニ、犯罪ノ搜查ト云フコトハ、無イモノト見ナクテハ
ナラヌノデアリマス、理窟ノ上カラ言ヘバサウナリマス、デ
理窟ノ上カラ此法モ矢張書カレマシタノデ、犯罪アリト考
ヘタナラバ搜查スル、犯罪ガ無イト云フ場合ニ、搜查ノシ
ヤウガナイト云フ、斯ウ云フ意味デアリマス、唯併シ事實ハ
御説ノ如ク、犯罪ノ有ルカ無イカト云フコトハ一ツ考ヘネ
バナラヌ、新聞記事其他一切ノ此中ノ事項ガ檢事ノ耳目ニ
達シマシタトキニハ、犯罪アリヤ否ヤト云フ疑ガアルノナ
ラバ、考ヘネバナラヌ、斯ウ云フコトハ事實ノ上ニ於テハ左
様ニナリマス、唯法文トシテ、理論ノ上カラ言ッテ犯罪アリ
ト考ヘタトキニ搜查スルシテ、斯ウ云フ意味デアリマス

○横山委員 二百七十九條ニ依ルト「匿名ノ申告又ハ、風説
アル場合ニ於テハ特ニ其ノ出所ニ注意シ虛實ヲ探查スヘ
シ」ト云フコトニナッテ居リマス、詰リ二百七十九條ノ規定
ハ、何處カラ投書ガ來タカ、ソレカラ投書ノ事實ガ有ルカ無
イカラ探查スルト、斯ウ云フ規定デアリマス、二百四十六條
ハ犯罪アリト思料シタル場合ニハ、證據ヲ搜查セヨ、斯ウ云
フコトニナッテ居リマシテ此二百七十九條トノ權衡上カラ
見マスルト、矢張告訴告發ガアツタ場合ニ、犯罪ガアルカド
ウカト云フコトハ、餘程調査ヲシナケレバ分ラヌト思ヒマ
ス、此故ニ縱令犯罪アリト思ハヌデモ、既ニ二百七十九條ノ
規定モアルヤウナ場合デアリマスルカラシテ、檢事ハ一應
ノ取調ヲスルト云フコトニスルノガ相當デアリシ、又從來
ノ例モ私ハ左様ニ考ヘマスガ、サウスルト、ドウシテモ犯罪
アリト思料スルトキニ限ッテ、犯人及證據ヲ搜索セヨト云フ
コトハ、今ノ御答辯ノ趣旨カラ見デモ、文字ガ狭キニ失シハ
セスカト云フ疑ヲ持テマスガ、今一應御答辯ヲ煩シマス

○山岡政府委員 此二百七十九條ハ、犯罪ニ關係アル、申告
風説ガアツタナラバ、ソレニ對シテ出所及事實ノ如何ヲ能ク
調べ、斯ウ云フ事ヲ書キマシタ譯ハ、架空ナル事項ヲ土臺
ニシテ搜查スルト云フコトハ、人民ノ權利ニ多大ノ影響ノ
アルコトデアリマスルカラシテ、容易ク爲シテハイケナイ
ソレガ從來、例ヘバ友達ノ爭トカ、其他、人ニ關スル爭ノア
ル場合ニ、一ツ匿名ノ申告ヲシテヤレト、斯ウ云フ風ナ事ガ
屢々行ハレテ居ル事ハ、横山委員ノ御承知ノ事ト思ヒマス、
其場合ニ、少シモ考慮スルコトナク、檢事カ立入ッテ調べ
スルト云フト、動モスルト被申告者ノ名譽ヲ害シ、隨テ其人
ノ權利ニ損害ヲ與ヘルト云フコトガアリマスルノデ、其弊
害ヲ矯メマスル爲ニ此規定ヲ置キマシタ、ソレ故ニ此規定
ハ、檢事ノ主觀的關係カラ書現シマセヌデ、客觀的關係ニ書
イタノデアリマス、犯罪ニ關シテ斯ノ如キ客觀事實ガア
タナラバ斯様ニスル、客觀事實ノ方カラ申シマスレバ、此二
百四十六條ノ方ニ於テモ、其事實ガ果シテドウ云フ程度デ
アルカト云フト、其事實關係ハ犯罪ニ關係ガナクテハナラ
ヌ、斯ウナリマス、二百四十六條ハ、是ハ主觀的ノ方カラ書
キマシテ、其事實關係カラ檢事ガ一應是ハ犯罪デアル、斯ウ
考ヘタトキニ於テ搜查ノ歩ヲ進メル、斯ウ云フコトニナリ
マス、主觀客觀ノ觀方カラ、斯様ノ規定ヲ致シタ譯デアリマ
ス

○鵜澤委員長 第二百四十七條

○横山(勝)委員 此二百四十七條ニ、地方長官ガ檢事ト同
一ノ權ヲ有スルト云フコトガ書イデアリマス、是ハ從來ノ
法律モサウデアリマスガ、此法文ノ體裁上、是ハ已ムヲ得ヌ
コトデアルカ知レマセスガ、地方長官ガ檢事ト同一ノ權利
ヲ持ッテ、犯罪ノ搜查又證據ヲ搜查スルコト云フ場合ガ、從
來アツタコトガアリマスガ、又將來アル見込デアリマセウカ
ソレヲ伺ヒマス

○山岡政府委員 此項ニ於キマスル搜查ノ實際ハ、檢事ガ
常ニ中心ニナッテ居リマシテ、ソウシテ此警察部長以下ノ司
法警察官ヲ指揮致シマシテ、サウシテ搜查ヲ致シテ居リマ
スル實例デゴザイマス、地方長官ガ搜查ニ干與スルト云フ
事ハ例トシテ下ノ位ノ歩合アルヤト云フコトヲ中上ガ
ヤウトスレバ、殆下歩合トシテ申上ゲルダケノモノハナイ
ト、斯ウ申ス程度デアリマス、唯是ガ今日地方長官ノ部下ニ
居リマスル警察官ガ、司法警察官デアリマスカラシテ、其長
官デアリマスル地方長官ハ、矢張檢事ト同等ノ權ヲ有スル

ト云フコトニ規定ヲ致シタニ過ギヌノデアリマス

○横山(勝)委員 尙ホ此二百四十七條ニ付テ承テ置キマスガ、此規定ニ依ルト、警視總監トカ地方長官ガ、檢事ト同一ノ權利ヲ持ツト云フコトニナリマス、サウスルト百七十條ヲ御對照ヲ願ヒタイノハ、百七十條ニハ檢事ガ急速ヲ要スル場合ニ、他ノ檢事又ハ司法警察官ニ命令ヲシテ、サウシテ押收若クハ搜索ヲスルト云フヤウナコトガ出來ル場合ハ規定シテアル、詰リ檢事ノ職權ノ一ツニ規定シテアリマス、ソレデ一例トシテ私ガ質問ヲ致シタイノハ、二百四十七條ノ規定ニ依テ、警視總監トカ、地方長官或ハ憲兵司令官ト云フヤウナ者ハ、檢事ト同一ノ職責ヲ有スルト云フ關係カラ、百七十條ノ規定ニ基キテ、警視總監、地方長官、憲兵司令官等カラ、今度ハ逆ニ檢事ノ方ヘ百七十條ニ書イデアルヤウナ事柄ヲ命令シ、若クハ囑託スルト云フヤウナコトガ出來ルコトニナリマス、ソレヲ承リタイ

○山岡政府委員 是ハ百七十條ノ勿論解釋ニナリマス、檢事ハ他ノ檢事若クハ司法警察官ニ命令囑託スル、ソレヲ司法警察官ハ他ノ司法警察官ニ命令囑託スル、斯ウ云フ順序ニナッテ居ル、二百四十七條ハ、警視總監ハ司法警察官デアアル、斯ウナッテ居リマス、司法裁判所ノ檢事ト同等ノ權ヲ有スルト云フノデ、直ニ檢事デアルト云フ譯ニ參ラスト思ヒマス、ソレデアリマス、其處ニ解釋ノ問題ガ出テ來マス、司法警察官タル警視總監、地方長官ハ共ニサウ云フコトハ出來ナイト云フ方ガ宜クハナイカト思ヒマス

○横山(勝)委員 私人疑問デアルカラ強テ言ヒマスガ、法文ノ解釋カラ言フト、檢事モ警視總監、地方長官、憲兵司令官等ニ對シテ、或ル事ヲ命令ズル權利ガアル、ソレカラ又二百四十七條ノ規定ハ、警視總監、地方長官、憲兵司令官ハ、檢事ト同一ノ權利ヲ持ツトスレバ、檢事ガ囑託命令ガ出來ルト解釋ガ出來マスガ、併シ從來ニ於テサウ云フコトハ事實ニ於テアリマセヌ、政府委員ノ御話ノヤウナ意味合ハソレデ了解シマス、併シ疑問ハ疑問デアルト思ヒマス、若シ警視總監、地方長官、憲兵司令官等ガ此規定ニ依テ逆ニ檢事ニ對シテ斯ウ云フ事ヲヤッテ吳レト云フコトヲ囑託シテ來ルコトガアルト、甚ダ不便デナイカト思ヒマス

○横山(勝)委員 二百四十八條ノ第一號ニ「應府縣ノ警官」トアリマス、應ト云フノハ「應」ヲ指スノデアリマス、カ

○山岡政府委員 是ハ北海道廳ガ主タルモノデアリマス、ソレカラ樺太モ廳トナッテ居リマス

○鶴澤委員 第二百四十九條

○横山(勝)委員 此二百四十九條ハ、巡查憲兵卒ガ檢事又ハ司法警察官ノ命令ヲ受ケテ犯罪檢査ノ補助ヲ爲ス事ヲ規

定シテアリマスガ、此檢事又ハ司法警察官ガ、巡查若クハ憲兵ニ對シテ命令ヲスルト云フ、其命令ハ豫メ一般的ニ命令ヲシテ置クノデアリマス、カ、或ハ個々ノ事件ノ起ツタ際ニ、個々ノ命令ヲ發スルト云フ意味デアリマス、カ、一寸疑ガアリマス、カ、ソレヲ御尋シマス

○山岡政府委員 此點ハ、巡查憲兵等ニ一般ニ犯罪搜索ノ方針ヲ授ケルコトガ出來ルノデアリマス、サウシテ從來ニ於キマシテ、一般ニ遵守スベキ訓令ヲ與ヘテ居リマス、ソレデアリマス、カ、一般ニ遵守スベキ訓令ヲ與ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲテ宜シイノデアリマス、併シ個々ノ搜索ト云フモノカラ申シマス、カ、犯罪アリト思料スルトキハ、犯人及證據ヲ搜索スル、斯ウ云フコトガ前提デアリマス、ソレデゴザイマス、カ、此處ニ含シテ居リマス、カ、即チ個々ノ事ヲ主トシテ言フモノデアリマス、即チ具體的ニ命令ヲ受ケテ、司法警察事務トシテ取扱フ、斯ウ云フノガ此法律ノ精神デアリマス、唯斯ノ如ク下級官吏ト云フコトヲ此處ニ書現ハシマシテ、一般ニ命令ヲ搜索スルコトヲ指示スルコトガ出來ルノデアリマス

○横山(勝)委員 少シマダ疑ガアリマスガ、サウスルト例ヘテ見レバ、巡查ガ交替ニ立ッテ居ル、若クハ私服巡查ガ市中ヲ巡視シテ居ルコト云フ様ナ場合ニ、或ハ之ヲ犯人デアルト認ムル場合ガアリマセウ、又現ニ犯罪ヲ爲シツ、アルト場合デモ、私ハ巡查憲兵卒トシテ相當ナ報告ヲシテモ差支ナイト思ハレマス、ソレカラ若シサウデナイト云フト、今日ハ彼處ニ賭場ガ開ケテ居ル、彼處ニ密淫賣ヲヤリツ、アルト云フ場合ニ、一々長官ノ指揮命令ヲ受ケナケレバイヤケナイト云フコトニナリマス、甚ダ是等ノ補助機關ノ職責ト云フモノガ、效力ノ薄イコトニナリハセヌカト思ハレマス、サウ云フヤウナ實際問題ニ付テハ、本條ハ適用ガアリマスカ

○山岡政府委員 刑事訴訟ノ働キカラ參リマス、只今述ベマシヤウナコトニナリマス、ソレデ犯罪人ガアルコトヲ巡查憲兵卒ガ知ツトスレバ、告發ヲシマス、告發ヲシテ始メテ事件ガ起キル、但シ司法警察官ガ一般ニ下級官吏デアルト云フコトハ、構成法ノ八十四條ニモ明記シテアリマス、此場合ニ於テ一般訓令ヲ爲スコトガ出來マス、一般ノ方針ヲ指示スルコトガ出來マス

○鶴澤委員 第二百五十條——第二百五十一條——第二百五十二條——第二百五十三條——第二百五十四條——第二百五十五條

○宮古委員 第二百五十五條ニ付テ御尋シマス、二百五十五條ト云フ規定ハ、是マデノ規定ニ非常ナル大變化ヲ來ス

大ナル問題デアラウト思ヒマス、檢事ガ搜索ヲスルニ付テ、公訴ノ提起ノ前ニ押收、搜索、檢證及被疑者ノ勾留、被疑者若クハ證人ノ訊問、又ハ鑑定ノ處分ヲ其所屬地方裁判所ノ豫審判事又ハ區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得ル、檢事自身ガアルノデアリマセヌケレドモ、檢事ガ必要ト認メタルナラバ、豫審判事若クハ區裁判所ノ判事ニ請求スル、豫審判事、區裁判所ノ判事ハ、檢事ノ請求ガアレバ、大抵拒ムヤウナコトハナイト思ヒマスガ、此規定ニ依ルト、檢事ガ公訴ノ提起前ニ何事デモ出來ルト云フコトニナル、殊ニ甚シキハ勾留ヲスルコトマデ出來ルト云フ非常ナル、是ハ容易ナラヌ規定デアルト思ヒマスガ、斯ウ云フ事ヲ、今マデノ規定ト違ッテ、ヤラネバナラスト云フドウシテモ必要ガアル譯デアリマセウ、殊ニ被疑者ノ勾留ト云フヤウナ、ドウモ容易ナ事ハ、餘リニ甚シキ事デハナイカト思ヒマスガ、是ハ大問題デアリマス、カ、ラシシテ、餘程慎重ニ審議シナクテハナラヌ條文ト思ヒマスガ、ドウシテモ斯ウ云フ事ヲシナクテハナラヌ必要ガアルノデセウ、ドウデアリマセウカ

○山岡政府委員 宮古委員ノ御尋ノ點ハ、御尤ト思ヒマス、是ハ此案トシテハ非常ニ重大ナル法文デアリマス、現行ノ刑事訴訟法ニ付キマシテ、起訴前ニ強制力ヲ用キテ搜索ヲスルト云フコトハ、現行犯ト云フ極ク狹イ範圍ニ限ッテ居リマス、此精神ハ、申上ゲルマデモナク人權ノ保護ヲ根據ニ致シマス、佛蘭西ノ自由宣言時代ニ出來タモノデアリマス、官吏デアルトシテモ、如何ナル意味ニ於テモ、起訴前ニ於テハ強制力ヲ用キルコトハナラナイ、但シ目前ニ於テ犯罪ヲシテ居ル場合、若シクハ之ニ類スル場合ニ於テハ、強制力ヲ用キテ宜シイ、是ハ實ハ例外トハ言ッテモ、實ハ法規ノ例外トハ言ハナクテモ宜イ、事實目前ニ犯罪ヲシテ居ル人間ガアル場合ニ、法ノ規定ニ依ラナイデ逮捕シ、其證據ヲ蒐メルト云フコトハ論ヲ俟タナイ、故ニ此案ニ從ヘバ、起訴前ニ於テハ何等ノ手段ヲ執ルベキモノデナイ、強制力ヲ許サヌ趣意デ、即チ人權擁護ノ自由ヲ特別ニ保護スルト云フ、斯ウ云フ時代ノ精神カラ佛蘭西ノ訴訟法ガ出來マシタ、ソレヲ承繼イダノガ我ガ現行法デアリマス、斯ノ如クニシテ、若シモ此實際ノ司法ノ運用ガ出來マスレバ、吾々ハ是非サウシナケレバナラス、起訴ヲシナイ間ニ、強制力ヲ用キテ、人ノ自由ヲ拘束シ、家宅ノ搜索ヲスルト云フガ如キコトハ、絕對ニ之ヲ避ケナケレバナラス、所ガ之ハ理論ダケノ話デアリマシテ、實際ニナルト云フト、斯ノ如キノ譯デハ是ハ出來ナイノデアリマス、搜索ト云フモノハ不可能デアリマス、ソレデアリマス、カ、御承知ノ如ク今日迄ト云フモノニ於テハ、承諾ヲ得タル家宅搜索承諾ヲ得タル同行

ト云フガ如キモノガ行ハレマシテ、之ヲ濫用シタル極ト云
フモノガ、種々ナル議論ヲ惹起シタルノデアリマス、ソレデ此
頃ニ於キマシテハ、此點ニ付テ餘程相戒メテ居リマシテ、
物議ヲ惹起シナイヤウニ致シテ居リマス、デアリマスルカ
ラシテ、承諾シタ同行、或ハ承諾シタ搜索ト云フコトニ於
テハ、物議ヲ惹起シマセズ、數年前ニ於テハ、甚ダ問題
ニナリマシタ、サウ云フヤウナ事ハ、法ノ不備デアリガ故ニ
サウ云フ事ニナル、此事實ニ顧ミマシテ、此本案ニ於キマシ
テハ、抑收搜索ニ付テハ、特ニ綿密ノ規定ヲ置キマシタ、現
行法ト之ヲ對比致シマシレバ、此度ノ大部分ノ法規ト云フ
モノハ、粗雑ナル抑收搜索ノ法文デアリケナイ、何處マデモ
法規ニ依テ、テ人ノ自由ヲ保障シナケレバナラス、即チ憲法ノ
命ズルガ如ク、國民ハ法ニ依ルニ非サレバ逮捕監禁サレナ
イノデアリマス、斯ウ云フ精神ニ則リマシテ、又所有權ノ保
護ニ於テモ、法ニ依ラナクテヤナラス、ソコデ規定ヲ綿密ニ
致シマシテ、斯ノ如ク法ヲ綿密ニ致シテ、人ノ自由ヲ法律上
保障致シマス、此儘ニシテ若シモ二百五十五條ノヤウナ規
定ヲ置カナクッタラバ、如何ナル働キヲ搜索ニ於テスルノ
デアルカ、サレバ分ラナクナルノデアリマス、サウスルノ
遂ニ場合ニ依リト云フト無理ナ仕事ヲシテ、役人トシテハ
職權外ノ仕事ヲシタト云フコトニナル、之ヲ受ケル方ノ側
トシテハ、自由ヲ侵害サレタト云フコトニナル、甚ダ面白ク
ナイ事柄ガ出來ナイトハ申サレナイノデアリマス、ソレデ
アリマスカラ、一面ニ於テハ、斯ノ如キ綿密ナル規定ヲ致シ、
一面ニ於テハ必要ニ依リ得ナイ時ニ於テハ、此二百五十五
條ノ規定ニ依リマシテ、裁判權ニ依リテ裁判權ヲシテ人
ノ自由ニ對スル手續ヲ求メ、サウ云フ譯デゴザイマシテ、
檢事自ラ手ヲ下スコトヲ許サズ、今ノ如ク承諾ヲ得テヤル
トカ要スルニ口實ヲ以テ人ノ自由ヲ拘束スルコトヲ許サ
ナイ、正々堂々トシテ、即チ法律的ニヤラナケレバナラス、
ソレデアリマスカラ二百五十五條ト云フモノハ、此案ノ成
立ノ後ニハ、尤モ宜ク働クダラウト思ヒマス、今迄ハ檢事自
ラヤルカラ遂ニ無理ガ出ル、之ニ反シテ此案ニ依リマス、
バ、裁判權ニ依ルノデアリカラ、判事ハ公正ナル地位ニ立ッ
テ行動スルモノデアリマスカラ、檢事ガ起訴前ニ於テ囑託
致シタ所デ、其公正ノ立場ヲ失フモノデアリ、ソコデ公正ナ
ル立場ニ於テ必要ナル取締ヲシテ、檢事ノ方ニ返シテヤル、
斯ウスレバ始メテ人權ト云フモノガ確保サレルノデアリマ
ス、此事ニ對スル外國ノ法令ハ澤山ゴザイマシテ、例ヘバ獨
逸ノ現行法ノ百六十條ニ斯クノ如キ規定ガアリマス、草案
ニ於テモサウ云フ規定ガゴザイマス、サウシテ換地利ニ於
テモ、第八十八條ノ第一項ニ矢張其規定ガアリマス、ソレカ
ラ匈牙利ニ於テモ、第八十六條第九十八條第一項ニ於テ、

第九十四條第二項ニ於テ其規定ガゴザイマス、諸威ノ第二
百六十六條ニサウ云フ規定ガアリマス、ソレハ全ク人ノ自
由ヲ法律上保障スルコト云フ意味ニ於テ必要デアリマス、是
ガアリマスレバ、檢事ノ方デ如何ニ大事件ト雖モ、無理ナ事
ヲ致シテ搜索スルコト云フコトガナクナル、最モ公明正大ニ
搜索ノ行動ガ出來ルヤウニナルノデアリマス、洵ニ大切ナ
ル規定デアルト云フ御趣旨ハ、如何ニモ私モ大切ナル規定
デアルト思フノデアリマス、之ニ依テ始メテ吾々ノ自由ガ
保障サル、コトニナラウト思フノデアリマス

ルカラ、サウ云フコトハ先ヅ忍ビ得ルト致シマシテモ、起訴
前ニ勾留スルコト云フヤウナコトハ、甚ダ不都合デハナカラ
ウカ、若シ斯ウ云フ規定ガ法律トナッテ現ハレタ場合ニハ、
檢事ガ勾留ヲ請求スルコト云フコトガ、ドシ／＼出テ來ルデ
アラウト思ヒマス、サウナッタラ容易ナラヌ事デ、人權ヲ保
護スルコト云フ積リデ拵ヘタ刑事訴訟法ガ飛ンデモナイ人權
ノ蹂躪ヲヤルト云フコトニナルデアラウト思ヒマス、デア
リマスカラ、少クトモ被疑者ノ勾留ト云フヤウナコトハ、削
除スル方ガ至當デアルト思ヒマス、此二點ニ關スル政府ノ
辯明ヲ伺ヒマス

○山岡政府委員 此規定ガナクテモ今マデヤッテ來タノデ
アルカラ、斯ノ如クニシナイデモドウデアラウカト云フ御
意見デアリマシタガ、其點ハ既ニ申上ゲマシタヤウナ意味
デ、大要盡キテ居ルト思ヒマスガ、尙ホ申上ゲマシレバ、結
局現行法ノ如ク、起訴前ニ於テハ、強制力ヲ用ヰルコトハ出
來ナイト云フコトニシテ置キマス、事件ガ重大デアリ、其
他種々ナル被告人ガ逃走スル虞ガアルトカ云フ時ニ、非常
ナ無理ナ事ヲシナケレバナラス、即チ捕ヘテ來タ強盜被告
人ノ如キハ逃ゲテシマウ、ソレデドウシテモ起訴ガ、起訴ス
ルニハ稍々疑ガアルハ、斯ウ云フ場合ニハ何トモ仕方ガナイ、
ソコデ終ニ今日デハ無理ナ處置ヲシテ、ソレヲ或ル期間留
置ク、斯様ナ事ニナル、ダカラ法ニ於テ、若シ必要ナル場合
ニハ強制力ヲ用ウルト云フコトヲ認メナクッタラバ、今後
必ズ人ニ依リ事件ニ依テ無理ガ出テ來ル、サウ云フ時ニハ、
又職權ヲ超越シタル行動デアルト云フ非難ヲ招クコトニナ
ル、若シ斯様ナ規定ヲ置カナイト、問題ヲ惹起シヤウニナル
デアルカラ、茲ニ明ニ是レダケノ規定ヲ置キ除外例ヲ認メ
ル、而カモ除外例ノ場合ニ於テハ、公正ノ判事ガ手續ヲスル
ノデアリマスカラ、人權ガ之ニ依テ侵害サレルト云フコト
ハ考ヘラレマセズ、ソレカラ尙起訴前ニ於テ人ヲ勾禁スル
ガ如キコトハ宜シクナイト云フ御意見ハ御尤デアリマス
ガ、強盜犯人若クハ之ニ準ズル兇惡ナル犯人、之ヲ逮捕シタ
場合ニ、事實ニ付テ稍々問題ガアル、斯ウ云フ時ニハ、ドウ
シテモソレヲ棄テテ行カス、放セバ逃ゲテシマウ、ソコ
デ勾留狀ヲ發シテ勾禁スル、是モ至當ノ處置デアラウト思
フ、勿論之ヲ濫用シタラバ宜シクナイガ、此規定ノ如キハ
例外規定デアリマス、例外規定ハ勿論濫用スベキモノデハ
ナイ、且又勾留スルコト云フコトニ致シマシテ、相當條件ガ附
シテアリマス、唯勾留シテシマウト云フ譯ニハ參リマセズ、
相當ナル條件ニ依テナスノデアリマス、ソレカラ勾留ニ付
キマシテハ、業ニ已ニ前數會ノ委員會ニ於テ御議論ニナッ
タ點デアリマシテ、此事ニ付キマシテハ、現行法ヨリモ餘程注

意シテ居ル譯デアリマス、尙ホ又人ヲ起訴前ニ勾留シテ置
イテ、其人ニ對シテ不起訴ニナリモ賠償モナク、或ハ名譽
回復ノ方法ガナイト云フ事ヲ御述ベニナリマシタガ、是ハ
現行法ニ於テモ同様デアリマスガ、將來ニ於テハ、賠償ノ途
其他ニ付テ、ドウシテモ考ヘナクテハナラヌト思フノデア
リマス、兎ニ角人ヲ起訴シテ、ソレガ無罪ニナッタノヲ棄置
クト云フ譯ニハ參ルマイト思ヒマス、人ヲ起訴シテ、何等ノ
根據ナク、無罪ニナッデシマッタ云フ場合ニ、是ハ公益ノ爲
メノ手續デアルカラ、已ムヲ得ナイト云フガ如キハ、古イ頭
デアリマス、今日以後ニ於テハ、宜シク是等ノ點ニ於テ不都
合ノ事ハ正シ若シ、名譽ヲ毀損シタヤウナ場合ニハ、其名譽
ヲ維持スル爲ニ適當ナル途ヲ取ルト云フ事ハ、國家ノ義務
デアル、將來是非斯ノ如クナラザレバ、ガザルモノデア
ト考ヘル、要スルニ今日マデ總テ理解アル手續ヲシタナ
バ、必要ニ依ッテハ勾留サレルノモ國民ノ義務デアリマス、
併ナガラ自分ガ罪ヲ犯サナイト云フコトニナクナラバ、其
人ノ名譽ハ以前ヨリ以上ニ之ヲ保持スルヤウナ方法ヲ取
ト云フコトハ、將來ノ問題トシテ宜シク追究シナケレバナ
ラヌト考ヘテ居リマス

○横山委員 此二百五十五條ニ關シテハ、私モ宮古君同様
ノ意見デアリマス、私ハ絕對ニ此規定ニハ賛成スルコトハ
出來ナイ、少クモ今ノ程度ノ辯明ニ依ッテハ、マダ反對ノ意
思ヲ翻ヘス譯ニ往カナイノデアリマス、此規定ハ檢察官ガ強
制處分ヲ必要トスル場合ニ、總テノ訴訟行為ニ犯罪ノ捜
査其他ニ付テ必要ナル行為ヲ裁判官ヲシテ爲サシムル事ガ
出來ルト云フ規定デアリマシテ、一面カラ言ヘバ檢察官ガ裁
判官ヲ使フコトガ出來ルト云フ規定デアリマス、檢察官ハ二
百五十五條ノ規定ニ依ッテ、押收デモ、檢證デモ勾
留デモ、訊問鑑定總テノ事ヲ裁判官ヲシテ爲サシムル事ガ
出來ルト云フ規定デアリマス、檢察官ハ御承知ノ通り裁判官
ト同様ニ司法官ト云ッテ居リマスケレドモ、檢察官ノ實質ハ一
ツノ行政官デアツ、屢々此法案ノ審議ニ際シテ質問應答ノ
アリマシタ如ク、裁判所構成法ノ規定ニ依ッテ、上官ノ命令
ニ從フコト云フ、上官ノ關係ヲ有ツ立派ナ行政官デアリ
マス、其行政官ガ獨立ノ保障アル裁判官ヲ、今申上ゲマシタ
檢證其他ノ勾留關係等ニ付テ、自由ニ使フコトガ出來ルト
云フコトニナレバ、今日ノ訴訟當事者主義ト云フモノハ根
柢カラ破壊サレル、今日裁判機關ノ外ニ、檢察制度ト云フモ
ノヲ設ケテ、サウシテ彈劾主義ノ精神ニ依ッテ、檢察官ノ國家
ノ名ニ於テ犯罪事件ヲ起訴シテ、サウシテ其檢察ノ捜査處
分其他ニ付テ、何等ノ關係ノナイ第三者ノ地位ニ在ル裁判
官ト云フモノガ、獨立シテ、サウシテ憲法ノ保障ニ基イテ裁
判ヲ下ス、是ガ所謂彈劾主義ノ精神デアツ、裁判官ハ檢察

ニ獨立シテ居ル、裁判機關ト云フモノノ外ニ彈劾機關ヲ設
ケテ、檢察制度ヲ作ツ法ノ精神デアル、而シテ一面ニ於テ
此彈劾主義ノ結果、現行法ニモ亦本案ニモ認メテ居ル等デ
アリマスガ、元來訴ナインニ裁判所ガ裁判スルト云フコ
トハナイ譯デアル、不告不理ノ原則ト云フモノハ、現行法及
本案ヲ通ジテ動カスコトノ出來ナイモノデアアル然ルニ二百
五十五條ハ起訴スル前ニ一訴ヘル前ニ檢察官ガ裁判官ヲ使
用シテ、裁判官ガ裁判ノ内容ニ屬スル總テノ行為ヲヤルコ
トガ出來ルノデアアルカラ、彈劾主義ト云フモノガ根柢カラ
破壊サレ、不告不理ノ原則ト云フモノガ根柢カラ蹂躪セラ
レ、裁判機關ノ外ニ檢察制度ヲ置クト云フコトガ全然ナク
ナリ、行政官ガ裁判官ヲ自由ニ使用スルコトガ出來ルト云
フ結果ヲ此法律ノ上ニ認メルト云フコトハ、甚ダ弊害ガ生
ズルノミナラズ、人權保護ノ精神カラ出來タト仰セニナレ
バナラヌ、只今御引キニナリマシタ獨逸其他他地利均牙利
諸國等ノ法制ハ、政府委員御説ノ如クナッテ居ルデアリマセ
ウガ、是等ノ國ハ御承知ノ通り所謂國家思想ノ極メテ旺盛
ナル國デアル、而シテ一切萬事權力關係ヲ行カウト云フ、所
謂軍閥主義ノ國デアル、人權ト云フモノヲ餘リ多ク考慮ノ
中ニ置カナイデ、國權本位ヲ行カウト云フ國デアル、所ガ先
刻御話ノ如ク、佛蘭西革命ノ當時ニ、舊來弊害ノアツタ糾
主義ヲ廢メ、彈劾主義ニ改メシタト云フ佛蘭西ノ法制ハ、
佛蘭西ノ國ガ、既ニ御承知ノ通り、共和國デアツ、サウシテ
最モ自由平等ノ思想ヲ尊重シテ居ル國デアル、即チ自由思
想ノ極メテ盛ナル國デアルカラ、人權ノ擁護ト云フ事ニ付テ
モ、徹底的ニ訴訟法ノ上ニ明定シテアル、此事カラ致シテ現
行犯處分ニ非ザレバ、一切檢察官ヲシテ強制處分ヲ爲サシ
ナイト云フ規定ガ出來テ居ルノデアアル、恐クハ英吉利ノ法
制モサウデアアラウト思フデアアルカラ、今頃時代遅レノ獨逸
其他ノ軍國主義ノ法制ヲ持テ來テ、自由思想ノ勃興シツ、
アル今日ニ於テ之ヲ用キルト云フコトハ、是ガ所謂時代錯
誤ト云フ事ニ當ル、何トシテモ忍ブ事ガ出來ヌノハ、行政官
ガ司法官ヲ使フ、行政官ガ裁判官ヲ使フト云フコトニナッ
テ來ルト云フコトデアリマス、過日來ノ質問應答ニ於テ明瞭
デアル如ク、何處マデモ本案ハ彈劾主義デアアル、隨テ不告不
理ノ原則ヲ採用シテ居ルト云ハレテ居リマスガ、此規定ガ
現實ニ法制トナッテ、現實ニ之ヲ全國ノ裁判所ニ檢察官ガ活用
スルト云フコトニナリマスレバ、彈劾主義ハ根柢カラナク
ナリ、不告不理ノ原則ト云フモノハ根柢カラ破壊サレルト
私ハ考ヘマスガ、斯ウ云フ大ナル原則ヲ破壞シテモ、矢張本
案ハ實行セラレントスルノデアリマス、ソレヲ伺ヒタイ

○岡岡政府委員 只今ノ横山委員ノ御意見ハ、其見方カラ
申シマシテ只今御立論ノ立場カラ申シマシテ、御尤ナ説デア
リマス、唯ソレガ政府ノ立場トシテ申シマスレバ、不告不理
ノ原則、裁判官ノ獨立ト云フモノニドウモ影響ガナイ、斯ウ
云フ立前ニ居ル譯ナシデス、其點ヲ一言申上ゲテ、是非此點
ハ御了解ヲ得タイト思フノデアリマス、第一ニ行政官デア
ル檢察官ガ裁判官ヲ使フ結果ニナル、其點ハドウカト云フ點
デアリマス、裁判官ハ元來檢察官ガ申出デナケレバ何事モシ
ナイト、斯ウ云フノガ獨立ノ地位デアリ、不告不理ノ地位デ
アリマス、檢察官ガ申出デナイ、即チ原告官ガ請求ヲシナイノ
ニ、判事ガ立入ルト云フノガ、即チ糾問主義ノ非常ナル害ノ
アル所デアリマシテ、中正ヲ失フ結果ニナルノデアリマス、
デ自ラ事ヲ始めマス、例ヘバ人ヲ勾引シテ取調ヲ始めマス
ト、無理デモ何カヤッテ居ルノダラウト云フ先入主ガ起キマ
シテ、無理ガ起ルノガ、申上ゲルマデモナク糾問主義ノ害デ
アリマス、ソレガ彈劾サレテ來テ、之ヲ靜ニ考ヘルト云フ
ト、即チ彈劾者ト云フ所ガ正當デアルヤ否ヤト云フコトノ、
公平ナル考ヘスルノデアリマシテ、茲ニ眞ノ公平ナル立場
ヲ維持スル裁判官トナルノデアリマス、デアリマスカラ此
規定ガ裁判官自ラ疑ガアルモノガアツタナラバ、捜査等ヲス
ルモノデアルト云フナラバ、御説ノ如ク不都合ナモノニナ
リマスガ、檢察官ガ要スルニ裁判官ニ申出テ一請求ト云フ
言葉ガアリマス、言葉ハ官廳デアリマスカラ、單純ニ請
求ト云フノデアリマスガ、原告被告ノ立場カラ申セバ、申出
ヲシテ證據處分ヲスルト云フ事ト變リハナイノデアリマス、
民事ニ於テモ、起訴前ニ於テ證據ノ散佚スル場合ニハ、起訴
前ニ於テモ證據保全ガ出來ルノデアリマス、裁判ノ性質ハ
總テ強制主義ノモノデアルト云フコトハ申スマデモナイノ
デ、裁判官ニ願ッテ、裁判官ガ爲スト云フコトデアレバ、裁判
官ノ獨立ニ毫モ關係ガナイ、檢察官ガ捜査處分ヲ請求致シマ
シテ、其請求後ノ個々ノ行動ニ付テス、斯ノ如クシテ貫ヒ
タイ、斯ノ如クシテ貫ヒタイト云ヘバ、是ハ裁判所ノ獨立
ヲ害スル事ニナル、是ハ裁判長ガ申立ラヌルダケノ話デ、
如何ナルコトヲ裁判官ガ爲スト云フアルカ、毫モ檢察官ガ立
入ルコトハ許サナイ、容喙ハ絕對ニ許サナイ、裁判長自ラ
公正ナル立場ニ居テ捜査スルダケノ話デアアル、一言ノ容喙
ヲモ許サナイ、デアアルカラシテ、裁判官ノ獨立ト云フ點ニハ
少シモ害ハナイト思フ、ソレカラ不告不理ノ方デアリマス
ガ、告ゲナケレバ是ハ理サナイノデアリマス、即チ檢察官ノ請
求ヲ待テ始めマス、成程彈劾主義ト云フコトヲ、起訴
事件、即チ起訴スルコトガ彈劾デアルト云フコトニ取リ
マスレバ、ソレハ彈劾前ニ行ハレル事ニナリマスケレドモ、
彈劾主義ト云フコトハ、結局斯ノ如ク斷ジテ起訴スルヤ否

ヤト云フコトニ取ル必要ハナト思フ、彈劾ト云フコトハ要スルニ申立ヲ待テ仕事スル、斯ウ云フコトヲ、彈劾主義ノ精神デアリマス、私方唯起訴スルコトヲ、彈劾主義以外ニ言フテ宜イト云フコトハ、精神カラ申スノデ、今日學問上ニ於キマシテハ、公訴ヲ提起スルコトヲ彈劾主義ト申シテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、精神ハデス、所謂申立ヲ待テ始メテ處理スルコトヲ、彈劾主義ト申シテ起訴ト違フ點ハ、斯ノ如ク強固分ラシテ結果、檢事ニ於テドウモ起訴スルコトガ適當デナイト云フ場合ニハ、起訴シナイデ、事件ガ終ヒニナツテシマウ、ソコノ點ガアッテ、檢事ガ我儘ヲシハセヌカ、此處ガ一番問題ニナル點デアリマス、ソレハドウモ檢事其人ノ信用問題ニ關係スルコトデアリマシテ、檢事ニ被告ニ對スル攻撃ノ處置ヲ爲スモノデ、常ニ人權ノ制限侵害ト云フ方ニ立ッテアル、斯ウ云フ事カラ見レバ、サウナリマス、元來檢事ト云フ者ハ、私ノ申上グル迄モナク、是ハ公益官デアッテ、被告ノ利益ハ何處迄モ擁護シナケレバナラス、此案ニ於テハ搜查ヲ爲スニ付テモ、豫審ヲ爲スニ付テモ、被告ノ不利益ダケ調べルノデハナイ、利益ノ點ヲモ調べナケレバナラスト云フ點ヲ、ヤカマシク此案ハ書イテアリマス、即チ檢事ガ搜查シマスルノニハ、不利益ノ點バカリ調べキモノデナク、利益ノ點モ矢張調べナケレバナラス、檢事ト云フ者ハ、元來原告ノ地位——原告官ダ、原告官ダト云ヒマスガ、是ハ一體餘リイカナイノデアリマス、原告官デハアリマス、檢事ト云フ立場ハ、即チ被告ノ罪アル者ヲ罰シ、罪ナキモノヲ罰セズ、斯ウ云フ立場ニ居ラネバナラス、罪ナキモノヲ罰セズ、眞ノ精神、此立場ニ檢事ガ居ル以上ト云フモノハ、私ノ此法文ニ於テ最モ問題トナル所ノ、勝手ナ事ヲシハセヌカト云フ所ノ弊害ト云フモノハ、全部無クナルト思フノデアリマス、然ラバ今日ドウダト斯ウ云フコトニナリマスレバ、ソレハ間々檢事トシテノ適當ナラザル處置ヲ執ツタ事例ガナイトハ申シマセヌ、併シ檢事ト云フモノノ立場ハ、サウ云フモノノデ宜イト云フコトハ、ドウシテモ言ヘナト思フノデアリマス、現今ニ於テ、殊ニ人權ノヤカマシイ時代ニ於テ、檢事ト云フ者ハ、何處マデモ公益ヲ以テ立場トシテ居ルコト云フ事ニナラナケレバナラスト思フノデアリマス、サウ云フ精神ニナツテ檢察官ガ立働ク時ニナリマスレバ、此法案ガアッテ始メテ人權ト云フモノガ最モ能ク保護サレルヤウナ事ニナルト思フノデアリマス、サウデナイト云フト、ドウシテモ無理ナ事ガ来マスカラ遂ニハ、原告官ト云フモノハ人權ヲ蹂躪スルモノデアルト云フヤウナコトニナツテシマウ虞ガアルノデアル、何卒此點ハ御研究ノ程、切ニ御願致シタイノデアリマス

アリマス ○横山委員 檢事ノ立場ニ居ラレテ、サウシテ檢事ガ犯罪ヲ搜查スルコト云フコトノ本意カラ申シマスレバ、ソレハ御説ノ如ク本案ノ如キ條文ヲ設ケタ方ガ檢事ノ御便利デアルト云フコトハ、是ハ申ス迄モアリマセヌ、併ナガラ斯ノ如ク規定ヲ設ケルト云フコトハ、全ク人民ノ側カラ見レバ、非常ニ不安ヲ増加スルコト私ハ考ヘル、政府委員ノ今ノ御話ニ依リマス、斯ウ云フ規定ガナイト云フト、檢事ガ間々無理ヲスル虞ガアル、ソレカラ是ガアレバ無理ガ出来ナイカラシテ人權擁護ニナル、斯ウ云フ御話デアリマス、檢事ト云フコトハ此規定ガ設ケラレタ爲ニ、人民ノ側カラ見レバ、是迄ハ檢事直接ヤラレタ居ッタガ、是カラ後ハ檢事ノ請求ニ依ッテ裁判官ガ之ヲ爲スト云フニ過ギナイ、即チ裁判官ト云フ一ツノ機關ヲ通ジテ、檢事ハ矢張強固分ヲ爲スノデアル、訊問モスレバ、拘留モスルノデアル、而シテ強固分ヲ爲スニ付テ必要デアルカドウカト云フ事ハ、誰ガ認定スルカト云フテ、言フ迄モナク裁判官ガ認定スルノデナクシテ、檢事ガ認定スル、此被告ナク勾留ヲシテ呉レ、檢證ヲシテ呉レ、是ハ強固分ヲ必要トスル場合デアルト云フ事ハ、獨立ノ資格ヲ持ッテ居ル裁判官ガ、檢事ノ請求ニ依ッテ、其檢事ノ請求ノ當否ヲ審査スル事ガ出来ナラバ、或ハ政府委員ノ御話ノ一部ハ徹底シマス、檢事ト云フ事ハ、檢事ガ絕對認定權ヲ持ッテ居ル、此認定權ガ檢事ガ持ッテ、其指定權ニ依ッテ判事ニ囑託シタル時ハ、判事ハ拒ム事ハ出来ナイト云フ状態ニナツテ居ル、サウスレバ先刻申上タヤウニ矢張行政官デアアル所ノ檢事ガ自由ニ裁判官ヲ使ッテ、搜查スルコトガ出来ル、而シテ此彈劾主義デアルトカ不告不理ノ原則デアルト云フコトハ、果シテソレハ實質的ニ申シマスレバ、今御話ノ如ク公訴提起ノ場合デナクテモ、檢事ト云フ職責ノアル者ハ、裁判官ノ側ニ請求スレバ、ソレモ一ツノ公訴提起類似ノモノデアアル、又告ゲテ爲ス事ニモ當ルデアルカラシテ、實質上カラ云ヘバ、彈劾主義ノ例外ヲナスモノニナルノデナクシテ、不告不理ノ原則ニ反スルモノデアアル、是ハ實際カラ言ヘバ、サウデアリマセウケレドモ、所謂公訴提起前ト云フコトハ、即チ公訴ノ提起ナキ場合、公訴提起ナキ場合ニ檢事ガ搜查處分ヲスルコト云フ事柄ハ、是ハ檢事ノ職務デアアル、裁判官ノ職務デハナイ、裁判官ハ如何ナル場合ニ於テモ公訴ノ提起ヲ受ケナケレバナラス、其事件ニ付テ干與スル事ハ出来ヌト云フコトハ、現行法並ニ此法案ノ精神デアアル、故ニ此公訴提起ノ以前ニ、適當ナモノヲ裁判官ガヤッテモ、檢事ガヤッテモ、其職務ノ實質ハ檢事ノ仕事デアアル、檢事ハ起訴不起訴ヲ決定スルノデ、材料ヲ蒐メルニ過ギナイノデアアル、此故ニ

二百五十七條ノ規定ニ依レバ、今御説明ノ如ク搜查處分ハヤツケレドモ、必要ナキト認ムル場合ニハ、被疑者ヲ釋放スルコト云フ場合モ出来テ来ル、サウスレバ全ク二百五十五條ノ規定ニ依ッテ、檢事ガ裁判官ニ請求スルコトノ出来ル職務ノ範圍ト云フモノハ、全ク搜查事務デアアル、檢事ノ職務デアアル、檢事ノ事務、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、本來檢事ノ盡スベキ事務ヲ、獨立ノ保障アル裁判官ニ之ヲ爲サシムルト云フコトノ結果ニナル、モット言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、行政官司法官ヲ使フノデアアル、上官ノ命令ニ從フコト云フ行政官ノ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ官吏ガ、獨立ノ職務ヲ有ッテ居ル所ノ判事ヲ使用スルノデアアル、而シテ檢事ハ一面ニ於テ本日問題ニナリマシタ二百四十八條ノ如キ規定モアル、補佐トシテサウシテ廳府縣ノ警察官、憲兵ノ將校、准士官及下士ソレカラ二百四十九條ニ基イテ、巡查、憲兵卒、一面ニ於テ斯ウ云フ多數ノ官吏ヲ自分ノ部下ニ使用シテ、搜查處分ヲ爲スコトノ出来ル權能ヲ認メラレテ居ル、ソレカラ事實ニ於テハ裁判官ヲモ使用スル權能ガ此規定ニ依ッテ認メラレテ居ル、檢事ガ裁判官ヲ使用スルコト云フコトハ、全ク裁判官ノ獨立ヲ侵害スルモノデアッテ憲法ノ精神ニ反スルモノト思フ、憲法ハ決シテ檢事ガ裁判官ヲ使用スルコト云フヤウナコトハ、絶體ニ之ヲ認メヌノデアアル、實際ノ事情カラ申シマシテモ、今日ノ裁判組織ニ於テ、裁判官ト檢事ノ地位ト云フモノハ、吾々ノ經驗上カラ觀察致シマスニ、ドウモ裁判官ノ方ガ檢事ノ勢威ニ壓セラレル氣味ガアル、ドウモ檢事ガ我儘ナ事ヲシテ、裁判官ヲ壓迫スルコト云フ氣味ガアルヤウニ思フ、其原因ハ御承知ノ通り、甲ノ裁判所ニ豫審判事ヲ置クト云フ時分ニ、檢事正ノ同意ヲ得ナケレバナラスト云フコトニナツテ居ル、是ガ檢事ニ壓倒セラレ、一ノ例デアアル、デアアルカラ、豫審判事ノ所ニ吾々ガ保障責任ノ請求ニ行ッテモ、豫審判事ハ何ト言ヒマス、吾々ノ方デハ大シタ意見ハ無イガ、先ヅ檢事ノ意見ヲ聽イテ見ヤウ、檢事デ保障許可ノ意見ヲ書イテ来レバ、判事ガ悉ク保障ヲ許可シテ居ル、勿論檢事ガ保障許可ノ決定ガシテモ、判事ガ檢事ノ意見ニ反シテ許シテ場合モアリマスガ、ソレハ極メテ稀有デアアル、多クノ場合ハ檢事ノ言フナリ次第ニナツテ居ル、又内文トカ省令トカ云フモノニ依ッテ、檢事ガ裁判官ノ行動ヲ監視シ、上官ニ報告スルコトノ出来ル規定ガアルサウデアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ、規則ノ上カラ申シテモ事實ノ上カラ申シテモ、檢事ニ勢力ガアル、而シテ裁判所ノ内部ノ關係ハ、私詳シク知リマセヌケレドモ、裁判官ヨリモ檢事ノ方ガ昇級ガ早イト云フ關係上、ドウモ人材力檢事ノ方ニ多イ、檢事ノ方ニ人材ガ集マルト云フ氣味ガアル、其所ニオイデノ御方ニモ、檢事ヲオヤリニナツ

リマスガ是ハ法律ニ依ッテ十分ニ注意シナケレバナラヌ
此點ハ御同感デアルガ、併シ此規定ヲ置イタカラ、人權蹂躪
ガ避ケラレタト云フコトハ私ハ考ヘナイ、即チ起訴致シマ
スレバ、豫審判事ハ強制力ヲ以チマシテ調ベルノデアリマ
ス、而シテ豫審ヲ求メルト云フコトニ付テハ何ノ條件モ要
ラナイ、唯タ檢事ガ豫審判事ニ對シテ調べテ下サイト云ヘ
バ、豫審判事ハ取調べナケレバナラヌ、豫審ニ入ッテ取調
爲スニハ、斯ク々々ノ條件ガ無ケレバナラヌト云フコトニ
ナレバ御説ノ通りデアリマスガ、豫審ニハ如何ナル條件モ
要ラヌ、而シテ是等ノ手續ヲシテ證據ガ無ケレバ免訴スル、
ソコノ所ニ實ニ餘程大切ナル刑事訴訟ノ實際問題ガ入ッテ
居ル、佛蘭西ノ如キハ御承知ノ通りニ、豫審判事ハ檢事長ノ
下ニ立ッテ居ル、一面カラ云ヘバ起訴後ノ取調デアアルガ、一
面カラ云ヘバ捜査ノ本質ヲ持ッテ居ル、デドシ〱豫審判事
ニ送ッテシマウ、又人民カラ豫審判事ニ取調ヲ求ムレバ、豫
審判事ハ直ニ豫審ヲ開イテドシ〱取調べタ上デ、證據ガ
無ケレバ免訴ニシテシマス、公判ニ移スハ確ナ事件デナラ
ズケレバ移サヌ、豫審ハ要スルニ單純ナル下調デアル、ソレヲ
日本デハズット以前ハ〱今ヨリ十五六年ノ前デハ、佛蘭
西ノヤウナア、云フ遣口デ、随分ムヅカシイ事件ナラバ豫
審判事ガ取調ヲシテ、サウシテ證據ガ無ケレバ免訴シテシ
マウ、デ其等ノ事件ハ起訴スルト云フコトハ餘程慎マナケ
レバナラヌ、是ハ人權ニ關スルカラト云フヤウナ點モアリ、
其他色々理由ハアリマスガ、一面ニ免訴ニナルヤウナ事件
ヲ起訴スルト云フコトハ、檢事トシテハ餘程慎マナケレバ
ナラヌ、色々ナ事情ガアリ、而シテ之ヲ起訴シタ以上ハ公判
ニ移サナケレバナラヌ、斯ウ云フコトガ久シクアルノデア
リマス、ソレガ色々弊害ヲ遺シテ居ルノデアリマスガ、豫
審ニ付シタ以上ハ、必ズ公判ニ移サナケレバナラヌト云フ、
是ハ一體間違ッテ居ル、豫審判事ハソンナモノデナイ、豫
審判事ハ強制力ヲ用キテ、必要ナリト認ムレバ公判ニ付ス
ルノデアルガ、檢事ガ起訴シテ豫審判事ノ調ヲ求ムレバ、
檢事ノ人權蹂躪ハ起ラヌノデアアル、サウ云フ風ニシタ
ナラバ、檢事ノ人權蹂躪ノコトハ出テ來ナイ、ソレデ犯罪
アリトスレバ直ニ起訴スルト云フコトニナル、今日佛蘭西
ハ左様ナコトニナッテ居ルカラ、檢事ノ問題ハ起キテ居
リマセ、此點ハ實際上ノ問題ニナッテ居ル、就中實際ハ
檢事ガ豫審判事ノ取調ヲ求ムルコトニナルノデアアル、
ソコデ豫審ニ入ッテ調スガ宜イカ悪イカラ研究シナケ
レバナラヌ、私ハ其點ニ付クト、十分ニ調査スルコトガ
出來ナイデ起訴スレバ、被告トナルノデアリマスカラ、
ソコデ此法文ニ被疑者ト云フ言葉ヲ用キタノハ色々ノ
理由ガアル、被告ト云フコトニナッタナラバ人ノ名譽
ニ關スル、ケレドモ被疑者ナラバ、ア

ノ人ハ嫌疑ヲ受ケタト云フダケデ名譽ヲ害スル事ハナイ
ソレデアルカラ被疑者トシテ其人ヲ扱ヒタイノデアリマ
ス、ソレガ今マデハ被告人トサレ、被告人呼リヲサレルノデ
アル、被疑者トシテ扱フニハ此法文ヲ置イテ、サウシテ必要
ガアレバ取調ヲシテ、若シ證據ガナケレバ起訴ヲシナイ、斯
ウ云フ風ニ致シマスレバ、名譽ノ保全ガ出来マスカラ、其意
味ニ於テ此法文ヲ置キタイノデアリマス、此法文ヲ削リマ
スレバ、只今申シマシタヤウニ佛蘭西ノ豫審ト云フモノニ
ナツテ求テ、ソレハソレデモ差支ハナイガ、豫審ト云フモノ
ハ元來サウ云フ性質ノモノデナイ、眞ノ被告人ハ公判ニ移
ス、サウデナイ被告人ハ、豫審判事ニ付ス必要ハ無い、公判
ニ付セラレタト云フ以上ハ、其下調ノモノニ外ナラヌノデ
アリマシテ、要スルニ茲ニ特ニ申シテ置キタイノハ、此法文
ノ勾留ヲ檢事ノ自由ニスルノデアリマセズ、總テ此法文
ガカブテ參事ノ自由ニスルノデアリマセズ、總テ此法文
ノデアリマス、豫審ヲ爲ス方法ニハ變リハナイノデアリ
マス、ソレガ爲ニ其人ハ自由ニナル、詰リ其人ニハ影響ハ無
イノデアリマス、斯ウ云フコトヲ申シテ置キタイノデアリ
マス、且ツ又檢事ノ今日力強イノ云フ御話デアリマス
ガ、此點ハ實ハ京都事件ノ如キ甚ダ遺憾ナ事ガ起キテ參リ
マシタガ、一人ノ被告人ヲ何處モサウ長ク調ベルト云
フコトハ、是ハ宜シクナイノデアリマス、外ノ事件ニ付テモ
サウ云フ者ヲ調ベタコトガアリマスガ、ドウモ一人ノ被告
人ヲ何處モ何處モ調ベルト云フコトハ、豫審ニ於テモ、何處
ニ於テモ適當デアルト申セナイと思フ、斯ノ如キ事件ガ會
々發生シ問題ヲ想起シタト云フコトハ洵ニ遺憾ニ存ジマ
ス、唯タソレカ——併シ檢事ノ方面ニ於テ、總テノ權力ガ集
中スルト云フノミデナイ、今日マデ其様ナ傾向ヲ見出シマ
シタカラ、今日ハ其弊ニ顧ミマシテ、無理ナ手續ヲシテ、今
日マデ仕様書ニ於テ此所兩三年特ニ注意ヲ致シテ居リマス
又檢事ト判事ト其待遇ヲ比較スルト、動モスレバ判事ノ待
遇ガ落チルト云フ御意見デアリマシタガ、ソレハ全ク違ッテ
居リマス、數年前ニ於キマシテハ、左様ナ傾向ガアリマシタ
ガ今日ハ檢事ノ方ノ待遇ガ落チテ居リマシテ、檢事ニナル
人ガ無クテ、實ハ困ッテ居ル、以前ニ於テハ檢事ノ方ニ向フ
人ガ多カッタ、今日ハ最早司法官司補ノ中デモ檢事ヲ志望ス
ル人ガ少ナイ、此事實ガ矢張司法省ニ於テノ方針モ、餘程變
リツ、アルト云フコトガ示サレルノデアリマス

○横山委員 モウ議論ハシマセズ、私ハ只今檢事判事ノ比
較ヲ申シマシタ、檢事ノ方ガ昇進ノ途ガ早イカラ、檢事ノ
方ニ人材ガ集マルト云フコトガ、今マデノ御意見ノ中ニ、
所謂起訴前デアアル、即チ起訴ガナケレバ——或ハ早く起訴
シテ豫審判事ノ手ニ移シテ、刑事被告人ト云フ汚名ヲ蒙ル

コトガアルカモ知レナイ、ソレデハ却テ名譽ヲ維持スル所
以デナイ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレハ形ノ上ニ於テ
ハサウデアリマス、併ナガラ既ニ被疑者トシテ、起訴前ニ豫
審判事若クハ區裁判所判事ニ勾留サレル場合ニハ、恐ラク
刑事被告人トシテ、正式ニ起訴サレタ場合ニ區別ハアリマ
セズ、私ハ起訴ニナツタノデナイ、被疑者トシテ勾引サレタ
ニ過ギスト世間ニ言ッテモ名譽ヲ保テナイ、法律上デ多少ノ
區別ガアルト云フニ過ギナイ、人民ノ側カラハ名譽ヲ害サ
レタ場合ハ、刑事被告人デモ被疑者デモ區別ガナイト云フ
實際論ヲ御考慮願ヒマス、モウ私ハ議論ハ致シマセズガ、
此條文ハ全然削除ノ意見デアリマス、又他ノ委員諸君ニモ
御意見ガアラウト思ヒマスカラ、御審議ノ際ノ材料ニ於テ、
今私ノ申上ゲタ事ヲ項目トシテ申上ゲテ置キマス、中ニハ
言ハナイ事モアリマス、要スルニ第一本案ニ反對スル理由
ハ彈劾主義ノ破壞デアアル、政府委員ハ一寸トシタ例外ヲ設
ケタト云フコトデ、簡單ニ輕ク御取扱デアリマスガ、私ノ見
ル所ハ、根柢カラ彈劾主義ノ破壞スルノデアアル、取扱ノ裁判官ガ
檢事ノ手足トナツテ、檢事ノ事務ノ補助ヲスルト云フコト
ハ、是ハ彈劾主義ノ根柢カラノ破壞デアッテ、現行法並ニ本
案ヲ通ジテ、許スヘカラザル舊式ノ思想ヲ持テ來タモノノ處
アルト思フノデアリマス、第二ハ判事ガ先入主トナルノ虞
ガアル、判事モ檢事モ同ジ人間デアリマス、假令檢事ノ指揮
ニ依ラズト雖モ、被告人ヲ勾留シ、檢證シ、證人ヲ訊問シ、鑑
定ヲ命ズル、斯ウ云フ場合ニ法律ノ上カラ云ヘバ裁判官ノ
仕事デアリ、檢事ノ捜査主義デアルト云フテモ、事實職務ニ
接シテ、檢事カラ申シマスレバ、矢張裁判官ノ扱フ事項デ
アリマスカラ、公平ナル裁判ヲ爲スベキ判事ニ厚キ心證ヲ
與ヘテ、所謂先入主ヲ爲スト云フコトハ已ムヲ得ナイ、是ハ
非常ナル弊害ヲ生ズルと思ヒマス、第三ハ二百五十七條ノ
規定ニ依リマシテ、色々勾留ナリ訊問ナリヤツケレドモ、
結局公訴ヲ提起スル必要ナシトシタ場合ニ被疑者ヲ釋放サ
レル、是ハ或意味ニ於テ便宜デアリマスガ、此場合ニ檢事ハ
必ズ被疑者ノ側、人民ノ側カラ非難攻撃ヲ受ケル詰リ何ノ
證據モ無いノニ自分ニ勾留シテ、無理ナ訊問ヲシタト云フ
テ非難攻撃ヲ受ケル、是ハ無罪免訴ノ場合サヘ檢事ガ非難
攻撃ヲ受ケル、此非難攻撃ヲ最モ公平デアルト信ジテ居ル所
ノ裁判官ニ對シテ、此攻撃ガ向イテ行ク事ニナル、是ハ人民
ニ裁判ヲ信賴セシメル意味ニ於テ出來テ居ル所ノ法律ノ精
神ニ反スル、斯様ニ考ヘマス、第四ハ訴追ノ職務ト裁判ノ權
限ガ全ク混同スルノデアリマス、是迄彈劾主義ノ原則ニ依
テ檢事ガ彈劾スル、サウシテ裁判官ガ裁判スル、即チ訴追ス
ル人ト裁判スル人トハ全然異ッテ居ル、ソコデ人民ノ側ニ於
テ始メテ裁判ト云フモノヲ信賴スル、裁判ニ信賴スル、裁判

ニ威信ガアル、ソレハ起訴前、不起訴前、如何ナル場合ニ於
テモ多少ノ制限ハアリマスケレドモ、斯ル條文ヲ必要トシ
テ提出シタ以上ハ、豫審判事又ハ區裁判所判事ハ、檢事ニ屬
スル捜査事務ヲ實行スル事ガ出來ルト云フコトニナツタ以
上ハ、全ク實際上ノ現象カラ見レバ、訴追機關ト裁判機關ガ
混同シタ譯デアリマス、斯ノ如キハ決シテ裁判ノ威信ヲ保
護スル所以デハナイト考ヘマス、是等ニ弊害ヲ生ズルト思
ヒマス、要スルニ精神ニ於テハ根本破壞デアアル、檢事便宜ノ
規定デアッテ、民權ヲ擁護スル趣旨ノ下ニ出來テ居ルト稱ス
ル本案ハ、到底承認ハ出來ナイ條文デアルト思ヒマス

○宮古委員 此條文ハ非常ニ重大ナルモノデアリマスカラ、
今少シ政府ノ御考慮願フコト、ソレカラ疑義ニ就テ實シ
テ見タイト思ヒマス、先ヅ私ノ考ヘル點ニ付テ是非御考慮
ヲ仰ギタイト思ヒマス、第一ニ法律ハ時代ニ相當スルヤウ
ニスルノハ當然デアリマスガ、今日ノ檢事ノ遣方デアリマ
スガ、如何ニモ弊害ガ起リ易イ狀態デアルト云フコトヲ、念
頭ニ置イテ裁キタイト思ヒマス、檢事ハ固ヨリ公平ナルベ
キモノデアリマスルケレドモ、事實ニ於テハ中々公平ニ行
カナイ、職務ニ忠實ナル爲カ知レマセズケレドモ、屢々常軌
ヲ逸シテ居ルト云フ事ハ、今日迄實例ニ於テ證明サレマシ
テ、全體ノ檢事トハ申シマセズガ、檢事ノ中ニハ如何ナル證
據デモ、被告若クハ被疑者ニハ利益ニ見ヘナイト云フ檢事
ガアリマス、不利益ナル證據ハ如何ニモ詰リナイモノデア
ツテモ、是ハ立派ナ證據ニ見エルケレドモ、被告人若クハ被疑
者ノ利益ナル證據ハ更ニ利益ニ見エナイ、何故サウ云フ譯
デアアルカ、誰ガ見テモ利益デアルモノハ、利益ニ見エサウ
モノデアアル、誰ガ見テモ疑ハシマスルモノ、ドウモ利益ナルモノ
ハ何カ接ヘタノデハナイカ、何カイ、加減ナ事ヲシテ居ル
ノデハナイカト、妙ナ風ニ考ヘテシマヒマシテ、ソレガ利益
ニ見エナイ詰リ是ハ此檢事ヲヤッテ居ルト、丁度肥船屋ノ
船頭ガ臭イ物ガ一向鼻ニ付カナイト同ジデ、ドウモ習性ト
ナツタ爲メカ知レマセズケレドモ、利益ニ見エナイト云フヤ
ウナ、如何ニモ公平ヲ失シタ狀態ニ在ル者ガ多イヤウデ
アリマス、サウ云フ今日ノ檢事ノ狀態デアリマスカラシテ、
法律ノ許サヌ事ヲヤッテ居ルノデアアル以上、法律ガ許シテ
居ルト云フコトニナツタナラバ、先ヅ大抵ナ事ヲヤルモノト
見ナケレバナラヌ、是ニ於テ濫用スルト云フコトニ相成ル
ト思フノデアリマスガ、若シ此二百五十五條ノヤウナ條文
ガ法律トナツテ現レタ場合ニハ、檢事ハ如何ナル事デモ出來
ルト云フコトニナル、只今山岡政府委員ノ申サレルヤウニ、
檢事ガ公平ニヤッテ、或ル極メテ少數ナル場合ニ於テ、被疑
者ヲ勾留スルト云フヤウナ遣方ヲスルモノデアアルナラバマ
ダ宜イケレドモ、法律ガ被疑者ヲ勾留スルコトガ出來ルト

カ、押収、捜査、檢證が自由ニ出來ルト云フコトニナツテ居
タナバ、先づ檢事ハドシ、斯様ナ事ヲヤルモノト見ナ
ケレバナラス、法律ニ於テ許シテ居ルカラ、法律ニ於テ
許サズ事スラヤル檢事ナラ、法律ノ許シテ居ル事ノ如キ、朝
飯前ノ仕事デアルト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、今日ノ
狀態トシテハ、法律ガ斯様ナ事ヲ規定スレバ、先づ濫用スル
ト云フコトハ、念頭ニ置イテ掛ラナケレバナラヌト思ヒマ
ス、ソレカラモウ一ツハ横山君ノ御意見ノ中ニモアッタヤ
デアリマスガ、檢事ニ付テ豫審判事、區裁判所判事ニ或事柄
ヲ提起スル場合ニ、豫審判事、區裁判所判事ガ之ヲ拒ムト云
フコトハ決シテ無イト確信致シマス、檢事ガ要求シタラ、必
ズヤルト考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、ソレハ豫審判事
ト云フモノガ、今日ノ狀態デハ檢事ノ意見ヲ用ナナイト云
フコトハ殆ド無イ狀態デアル、豫審判事ハ獨立シテ居ル
デアリマスカラ、斯様ナ事ハ表面拒シデモ宜シイノデア
ルガ、ソレヲ拒ム豫審判事ハ無イ、ドウ云フ事デアアルカト驚
シテ見マスルト、極メテ詰ラヌ所ニアルヤウデアリマス、即
チ豫審判事トナルニハ檢事正ノ同意ヲ要スル、若クハ推薦
ヲ要スルト云フヤウナ、今日ノ狀態ニナツテ居ルノデアリマ
ス、其等ノ事カラ豫審判事ハ、檢事ニ使ハレテ居ルヤウ
ナ狀態ニナツテ居ル、實際ハ檢事ガ非常ナ權利ヲ持ッテ
居ッテ、豫審判事ハ檢事ノ言フコトハ唯々諾々ト應ズル
今日ノ狀態デアル、ソレデ若シ檢事ガ豫審判事ニ或ル事
柄ヲ請求スルト、必ズヤルモノト見ナケレバナラヌ、必
ズ其通りヤルコトニ見ナケレバナラヌノデアリマス、必
ラ、檢事ノ自由自在ト見ナケレバナラヌト思フ、政府委
員ノ仰シヤルヤウニ、豫審判事、區裁判所判事ニ請求シテ
モ、事柄ガイカスト思フタラヤラスト云フヤウナ事ハ、先
無イト見ナケレバナラヌ、サウシマスルト云フ、檢事ガ要
求スレバ何デモヤルノデアリマスカラシテ、茲ニ告發ガ起
リ、告訴ガ起ルト云フコトガアッタ場合ニ、檢事ハ直ニ押収、
檢證、搜索ヲ請求スルノガ便宜デアアルカラ、直ニ之ヲ要求ス
ル、サウスルト直様豫審判事ガ之ヲヤルモノト見ナケレバ
ナラス、サウナッタラドウカト云フ、實ニ是非非常ナ不名
譽ヲ、是等ノ狀態ニ相成ッタ所ノ者ニ負ハシメルコトニナリ
マス、告訴ガ起ッタ、告發ガ起ッタ場合ニ、檢事ガ押収、檢證、
搜索ト云フ事ヲ直ニヤル事デアリマシタラ、是ダケデヤラ
レタ所ノ人ノ名譽ハ毀損サレテシマウ、起訴ニナツテカラヤ
ルト云フ事デアリマスレバ、サウ容易ニヤラヌガ、是ハ起訴
前ノ事實デアリマスカラ容易クヤル、容易クヤラレタ所ノ
人ト云フモノハ、非常ナ名譽ヲ失フテシマウノデガリマスカ
ラ、容易ナラヌ事デアル、今ノ勾留ト云フヤウナ事ニナツタ
ラバ、ソレコソ大變デアリマスケレドモ、併ナガラ先刻モ申

シタヤウナ譯デ、勾留ヲシテ檢事ニ便宜ナリトシテ、ソレヲ
ヤラナケレバナラヌ必要ハアラウトハ、吾々ガ見テ思ハス
モノデモ、檢事ガヤラナケレバナラヌトナルトヤル、サウナ
ブテ來ルト勾留サレタ人ノ名譽ハ、地ニ墜チテシマウモノト
見ナケレバナラヌ、ソナ譯デアリマスカラ、此條文ガ法律
トナツタナラバ、大變ナ弊害ガ起ルモノト云フコトハ、今日
カラ大ニ考ヘナケレバナラヌモノデアラウト思ヒマスカラ、
是等ノ點ニ付テ、十分政府ノ御考慮ヲ煩シタイト思ヒマス、
尙ホ一寸ソレニ付テ御尋シテ置キタイト思ヒマスノハ、檢事
ノ要求ガアツテ、或ハ押収ナリ、搜索ナリ、檢證ナリヲサレマ
シテモ、其之ヲヤラレタ所ノ人ノ名譽毀損ニナラナイ方法、
若クハ何カ手段ガゴザイマセウカ、言葉ヲ換ヘテ言ハバ名
譽毀損ニナラヌト云フコトガ出來ル方法ガ、アルデアラウ
カドウカト云フ事ト、ソレカラシテ被疑者、若クハ證人ノ訊
問、又ハ鑑定ノ處分ト云フコトガアリマスガ、今日ニ於テハ
檢事ガ隨意ニ人ヲ呼出シテ取調ヲシタモノガ、此法律案ガ
法律トナリマスレバヤラス譯デアラウカ、ソレトモ唯タ行
政ノ處分ヲ必要トスル時ダケガ、豫審判事若クハ區裁判所
ノ判事ニ請求スルコトモアルカラシテ、依然トシテ今日迄
ノ通りニ、檢事ハ隨意ニ被疑者ヲ呼出シ、證人ヲ呼出シ、若
クハ鑑定ヲサセセルヤウナ事ヲヤルノデアラウカドウカト
云フ事ト、ソレカラモウ一ツ被疑者又ハ證人ノ訊問鑑定等
ノ場合ニ於キマシテハ、宣誓ヲ用ナケルノデアラウカドウ
ウデアラウカ、證人ニ付テハ證人トシテ普通ノ豫審判事ガ
訊問スル通りニ、鑑定ニ付テモ同様ニナルノデアラウカ、被
疑者ト云フモノニ付テハドウスルノデアアルカ、是ニハ宣誓
サセナイモノデアアラウト思ヒマスガ、ドウ云フ事ヲスルノ
デアアラウカ此三ツノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○山岡政府委員 之ヲ爲スニ付テハ、行政處分ヲ必要トス
ル時ダケニ限ッテヤッテ、區裁判所判事、豫審判事ニ於テ、他
ノ手段上之ガ許ス範圍ニ於テヤルコトト思ヒマス、ソレ以
上ニ自由ニ出來ルト云フ譯デハナイノデアリマス、ソレカ
ラ尙ホ勾留ヲシタトカ、或ハ證人訊問其他ノ點ニ付テ、名譽
ノ保持ニ關シテノ點デゴザイマス、是ニ二百五十三條ガ一
般ニ働ケバ、搜索ニ付テハ名譽ヲ毀損シナイヤウニ常ニ注
意致サナケレバナラヌ、即チ其他ノモノト云フノハ、差押ヲ
受ケ、搜索ヲ受ケタト云フ場合ガ無論入リマス、尙ホ本案ニ
付キマシテ、搜索ヲシテ物品ガ無カッタトキニハ、其物ガ無
カッタト云フ證明ノ交付ヲ、要求ガ出來ルヤウナ事ニナツテ
居リマス、要スルニ其等ガ極メテ大切ナル點デアリマシテ、
以前デ申シマスルト、巡査其他ノ者ガ張番ヲシテ、サウシテ
押収トカ、搜索トカ、色々ナ事ヲヤッタノデアリマス、勿論是
ハ警戒上必要ナル點ハ、今後ト雖モ爲サナケレバナラヌガ、

餘程總テノ點ニ注意シテ、彼處ノ家ニ役人ガ乗込シタト云
フコトノ、容易ニ分ラヌ方法ヲ採ラナケレバナラヌノデア
リマス、其點ハ此案ハ現行法トハ餘程變ツタ頭ヲ持ッテ居
マス、デアリマスカラ本條ノ點ニ付テモ之ヲ活用スル場合
ニハ、名譽ノ保存ト云フ事ニ付テハ、具體的ニ注意スベキ事
ハ二百五十三條ノ規定デアアル譯デアリマス、ソレカラ尙
今日迄ノ通りノ搜索ヲスルカドウカト云フコトデゴザイマ
スガ、是ハ大體ニ申セバ、矢張り任意ナ取調ヲ爲スト云フ事
ハ二百五十四條ニ規定致シテアリマス、目的ヲ達スルガ爲
必要ナル取調ヲ爲スコトヲ得、是ガ即チ搜索取調デアリマ
シテ、此事ハ矢張りヤルノデアリマス、唯タソレガ今迄通りヤ
ルカドウカト申シマスレバ、今日迄ノ所デハ二百五十五條
ノヤウナ規定ハアリマセヌデシタガ、時ニハ可ナリ進ンダ
手續モアツタノデアリマスガ、斯ウ云フ規定ガアリマスレ
バ、成ベク控目ニ搜索ト云フモノハヤルコトニナリマス、大
體申セバ矢張り今迄通り、人ニ就テ物ニ就テ取調ヲスルコト
ダケハ致シマス、ソレカラ此規定ニ依ッテノ調ハ、證人訊問
鑑定等ニ宣誓ヲ爲スヤ否ヤ、即チ一般ノ手續ニ依ルカト云
フ御尋デアリマスガ、是ハ勿論一般ノ手續ニ依ルコトハ段
々申上ゲタ通りデ、此規定ニ依リマスレバ、獨立ナル公平ノ
裁判官ガヤルノデ、總テ其通りニヤリマス

○鶴澤委員長 原君如何デスカ、モウ少シハヤッテ宜イ
思ヒマスガ、今日ハ斯ウ云フコトニ致シテ居リマス、第二
百五十五條ニ於キ關聯シテ居リマスカラ、第二百五十五條第
二百五十六條、第二百五十七條、是迄一括シテ議題ニ供シテ
居ルコトニシテ置キマス

○原委員 二百五十四條ニ付テ一寸御尋ラシテ置キタイノ
デス、極メテ簡單デアリマス搜索ニ付テハ、其目的ヲ達スル
爲必要ナル取調ヲ爲スコトガ出來ル、此必要ナル取調ニ付
テハ、本案ノ百三十九條、即チ被疑者ヲ檢事ガ訊問スル場合
ノ規定ト、ソレカラ後ニ來ルベキ三百四十五條ノ、此檢事ノ
訊問調査ガ證據ニ供セラル、ト云フ此規定ト、牽連ヲ持ッ
規定デアアルノデアリマスカラ、是ニ於テ本案ニ必要ナル取
調ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトハ、是ハ矢張り法令ニ基
イテ、必要ナル取調ヲ爲スモノデアラネバナラヌト思ヒマス、
所デ此本案ニ於テハ檢事ノ調ノ結果ガ訊問調査ト云フ形ニ
現レル場合ト、只タノ聞取書見タヤウナモノト、其他ノ取調
書ト色々ニ相違ガアルヤウデアリマスルガ、此區別ノ標準
ハ、法令ヲズツ細カク調ベテ見レバ分ルモノデアアラウト思
フノデアリマス、政府委員ニ於テハ、此點ニ付テ詳シク御承
知ニナツテ居ルト思ヒマスガ、大體其差違ノ點ヲ御證明願
ヒタイ、是ハ三百四十五條ニ至ッテ大分議論ガ出ル點デアラウ
ト思ヒマス、大體此「搜索」ノ場合ニ至ッテノ條文デアリマス

ルカラ、其點ヲ一應伺ッテ置キタイと思ヒマス

○山岡政府委員 此點ハ斯ウ云フ譯デゴザイマス、訊問調書ト云フ一定ノ様式ヲ備ヘタル書類、即チ其書類ニ特別ナル證據力ヲ附スモノダケハ重ク扱ハレル、サウ云フ特別ナル效力ヲ法律ガ附與シテナイモノハ、即チ法令ニ依ッテ作成シタル訊問調書デナイノデアリマス、デ檢事ノ搜查書類ト云フ物ハ、勿論是ハ法令ニ依ッテ作成シタル訊問調書デハナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ、三百四十五條ノ特別ナル效力ハ無いノデアリマス、デ三百四十五條ニハ總テ此法令ニ直接ナル根據ガアッテ、其書類ヲ作成スルコトガ出來ルト云フ、直接ナル根據ガアルダケデアリマシテ、唯タ取調ヲ爲スコトヲ得ト云フガ如キ手續ヲ爲シタ所ノモノハ、一切訊問調書デハアリマセヌ

○原委員 其檢事ノ直接、法令ノ規定ニ基イテ訊問ヲ爲ス、其訊問調書ノ場合ト、ソレカラ其法令以外ノ廣キ法例ニ依ッテ、檢事ガ搜查取調ヲ爲ス場合ト概括シテ、前段ノ場合、即チ直接ノ法令ニ依ッテ作成シ得ベキ訊問調書ノ場合ヲ指摘シテ、參考書類トシテ出シテ戴ク譯ニ參リマセヌカ、調べテ貰ヘバ直グ分リマス

○山岡政府委員 ソレハ極ク容易イ、起訴以後ニ於ケル被告人訊問書、ソレカラ證人訊問調書、鑑定人調書、檢定調書ト云フモノ、及二百五十五條ノ起訴前後ニ於ケル所ノ強制處分ヲ用キタル調書、現行犯等、特別ナル場合ニ於テ強制力ヲ用キル調書デアリマシテ、一々書按イテ差上ゲテモ宜シイノデスカ、大抵御承知ニナラウト思ヒマス、ソレダケデアリマス

○横山委員 是ハ質問デハアリマセヌガ、二百八十一條ガ最近ノ委員會ニ於テ問題ニナルト思ヒマス、公訴提起ノ場所デアリマス、ソレデ此二百八十一條ハ不起訴ノ場合ヲ規定シテアリマスガ、承ハル所ニ依レバ、餘程前カラ不起訴處分ノ標準ヲ示シタル内訓トカ、訓令トカ云フヤウナモノガ、司法省カラ各裁判所ノ檢事局ニ發セラレテアルサウデアリマス、此二百八十一條ヲ審議スル上ニ於テ、サウ云フ材料ヲ御示シ願フ譯ニ行カヌモノデアリマスカ、御示ヲ願フコトガ出來ルナラバ、次ノ委員會ニ於テ御示ヲ願ヒタイ

○鶴澤委員長 能ク政府ニ申シテ置キマス、ソレデハ今日ハ是迄ニ致シテ、明日午前十時カラ……

午後零時三十七分散會

大正十一年二月二日印刷

大正十一年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局